

# 「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 令和8年3月

## 「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成16年度から継続し22年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童生徒30名の委員が、昨年6月から本年2月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話し合いや調査研究、インタビュー等を行い、市への提言にまとめました。今年度は、「子どもの意見表明権」のさらなる充実を目指して、これまでの市長への提言から市議会を含む地方自治(市)への提言として実施しました。

活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉 光行教授にご指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

## 「令和7年度 八幡市子ども会議 -市への提言-」

令和8年1月17日に、議場(市役所6階)にて、市への提言を行いました。各班の主な提言内容を紹介します。

### 小学生A班

#### 「体もまちも元気に！」

##### 「やわ炭(たん)パスタ！」

八幡の名物である竹を使った特産品として、竹炭を使ったパスタ「やわ炭(たん)パスタ」を提案しました。給食への導入、費用や材料の調達等について質問を受け、将来のメニュー化に向けて自分たちの考えを発表しました。



### 小学生B班

#### 「不法投棄ゼロへ」

##### 「～作ろう八幡の未来～」

八幡市の不法投棄やポイ捨てをなくすため、目立って心に残る新しいデザインのポスターや資源の再利用について提案しました。市民の目に付くインパクトあるアピールのために、「はちまんパッカー」というキャラクターを考え、きれいな八幡をつくろうと訴えかけました。



### 小学生C班

#### 「いちごをきっかけに」

##### 「八幡をもっと好きに」

八幡の特産品の中で小学生が興味を持ちやすい「いちご」を使った「イチゴミルク」について提案しました。自分たちの思いや考えがより伝わるよう、実際にイチゴミルクを作り、市長や議員に試食していただきました。



### 中学生班

#### 「八(はち)ゲルあれば憂いなし！」

八幡市の防災対策の象徴として、市役所の防災広場に「八(はち)ゲル」を設置することを提言しました。「八(はち)ゲル」とは、竹を使った簡易型のテントであり、簡単に設置できることをアピールするため、実際に市長や議員と八(はち)ゲルを作りました。



### 高校生班

#### 「地域×交流×防災」

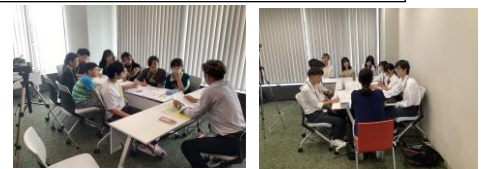
##### 「～八幡まるごと防災かるたでつなぐ街～」

八幡市の地域性と防災知識を取り入れた「八幡まるごと防災かるた」の制作・活用について提言しました。実際に市長や議員に制作したカルタを渡し、カルタに込めた思いや願いを訴えました。



### 1年間の活動プレビュー

夏休みには、市役所で、職員へのインタビュー活動をしました。



実際に調理をしたり、フィールドワークに出かけたり、体も心も動かして、調査・研究活動します！



### 講評 立命館大学政策科学部教授 稲葉光行先生

子ども会議委員のみなさん、そして提言にあたたかいお言葉をくださった川田市長様、議場で発表し、子どもたちと議員との質疑応答の機会を作ってくださった太田議長様、ご来場の皆様、本当にありがとうございました。

子ども会議は毎年すばらしくなっています。特に今年の提言は、堂々と議員と質疑応答を行い、自分の考えや思いを伝えることができました。私が想像していた以上に素晴らしくとても感動しました。委員の皆さんには、この経験を大切にして、「自分には無理かも」と思わず、いろいろなことにチャレンジしてほしいです。そして22年間続く「子ども会議」という特別な場がある八幡市で育ったことを誇りに、世界へ羽ばたいていって欲しいと思います。

